



PRODUCED BY PROXX INC.

ライブウェル循環生簀 ハイパワーTB05 [コード: PX165SW05]

取扱説明書

この度は、「ライブウェル循環生簀ハイパワーTB05」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。正しく安全にお使い頂くために必ずこの取扱説明書をお読み頂き、十分に製品の特徴を理解した上でご使用ください。なお、この取扱説明書は保証書にもなっておりますのでお読み頂いた後は、大切に保管して下さるようお願い申し上げます。

株式会社 **プロックス**

⚠ 感電・火災・漏電事故を避けるための注意

- 組立・点検・掃除・移動時は必ずワニ口クリップをバッテリーから外してください。
- 濡れた手でワニ口クリップとバッテリーの接続はお止めください。
- ワニ口クリップをバッテリーへ接続する際、電極(+)/-をご確認ください。
- 赤いクリップが+側です。逆接すると起動しません。
- リード線は、無理に引っ張ったり岸壁や岩の角などで引きずったりしないでください。
- 傷んだリード線は火災を起こすことがあります。ご使用前にリード線の被覆が傷付いていないか、芯線が露出していないか確認してください。
- リード線を加工したり折り曲げたりしないでください。
- 本製品の改造はしないでください。
- 子どもが使用する際は、必ず大人が立ち会うようにしてください。
- 本製品を稼働した状態で持ち運びはしないでください。
- パワーコントローラーの防水保護等級は、IPX5(雨粒や水しぶき程度)です。水没や水洗いをしないでください。
- パワーコントローラーの入力DC電圧は、12Vから17Vの範囲で、17Vを超える電源を使用すると故障の原因になりますのでお止めください。
- 電源は、電動リール用14.8V・14.4Vまたは自動車・バイク用12Vを別途ご用意ください。

⚠ 本体による事故・故障を避けるための注意・その他の注意

- 「最大揚程6m」を保証するものではありません。バッテリーの状態や、フィルターの目詰まりなどが原因で6mに届かない場合があります。
- ウォーターポンプは、必ず水中へ入れてから電源を入れてください。空転は故障の原因となりますのでお止めください。
- ウォーターポンプを稼働した状態で水中へ入れると、本体内部の空気が排出されず、給水ができません場合があります。
- バッテリーの電圧不足や水面からの高さや流量設定によっては、ディフューザーのエア混合ができません場合があります。
- ウォーターポンプは、フィルターの汚れや異物の付着によって能力が低下する場合があります。
- 給水の勢いが弱まったら、電源を入れなおすか、バッテリーを交換するか、フィルターの汚れを落としてください。
- パワーコントローラーは、稼働中に電源ボタンを押すと、汲み上げが停止して水槽内の水が逆流し、ディフューザーの位置まで水位が下がります。
- 排水ニップルを水平より上方へ向けると排水ができません。
- 流量の勢いが強いと、排水が追いつかず水があふれる場合があります。パワーコントローラーでレベルを調節してください。
- 流量の勢いが強いと、魚へダメージを与えてしまう場合があります。パワーコントローラーでレベルを調節してください。
- ウォーターポンプは、岸壁や岩などへぶつくと破損する恐れがありますので、お取り扱いにご注意ください。
- ウォーターポンプが水底へ着かないようにフロートの位置を調節してください。砂泥を吸い込むと故障の原因になります。
- ウォーターポンプを洗浄する際は、石鹸や洗剤を使用せず、水道水で洗浄してください。
- ポンプガードからウォーターポンプを取り出す際、フィルターカバーの脱落にご注意ください。
- 水槽はポリプロピレン製で、紫外線などの影響で経年劣化する消耗品です。
- 水槽へ水を入れたまま移動させると、水の重みで水槽が破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 水槽の蓋は密閉性がありませんので、揺れた波が大きいと水が漏れます。
- 水槽へ魚を入れすぎると、弱りやすくなる場合があります。
- サイズなどのスペック表記には多少の誤差が生じます。
- 本製品のご使用によって生じた紛失・故障・釣行費等の付随的な保証はできません。

製品特長

- 活き餌や釣った魚がずっとイキイキ。
- ハイパワーブラシレスモーター搭載ウォーターポンプ。
- 最大揚程約6m。
- 流量15段階パワーコントローラー付。
- ディフューザーで給水と同時にエアを混合。
- 海水淡水どちらにも対応。バッテリーは、電動リール用14.8V・14.4V、自動車用12Vに対応。
- ヤエンや泳がせ釣りのアジや活き餌活かしだけでなく、水汲みや手洗い、釣り場の掃除にも。

仕様

最大揚程	約6m
ポンプユニット	ウォーターポンプ本体(ハイパワーブラシレスモーター) リード線、パワーコントローラー、ワニ口クリップ
入出力電圧	入力DC12V~17V / 出力DC3.5V~13V
流量調節	15段階(デジタル表示とディフューザーから出る泡の勢いでレベルが目視できます)
防水保護等級	IPX5(パワーコントローラー)
水槽サイズ	外寸: 約W355×D524×H266mm 内寸: 約W295×D438×H243mm 29L(排水水位: 約23L)
対応バッテリー(別売)	電動リール用14.8V・14.4V / 自動車・バイク用12V

お掃除方法

使用後は、ウォーターポンプをポンプガードから取り出し、水道水に浸けて数分間稼働させ、ウォーターポンプとホース内部の不純物を排出してください。フィルターは、フィルターカバーを外し、フィルターを抜き取って水洗いするか、交換してください。フィルターカバーは、本体へ取り付けの位置が決まっています。フィルターカバーのくぼみを本体内部の膨らみへ合わせてください。

故障かなと思ったら

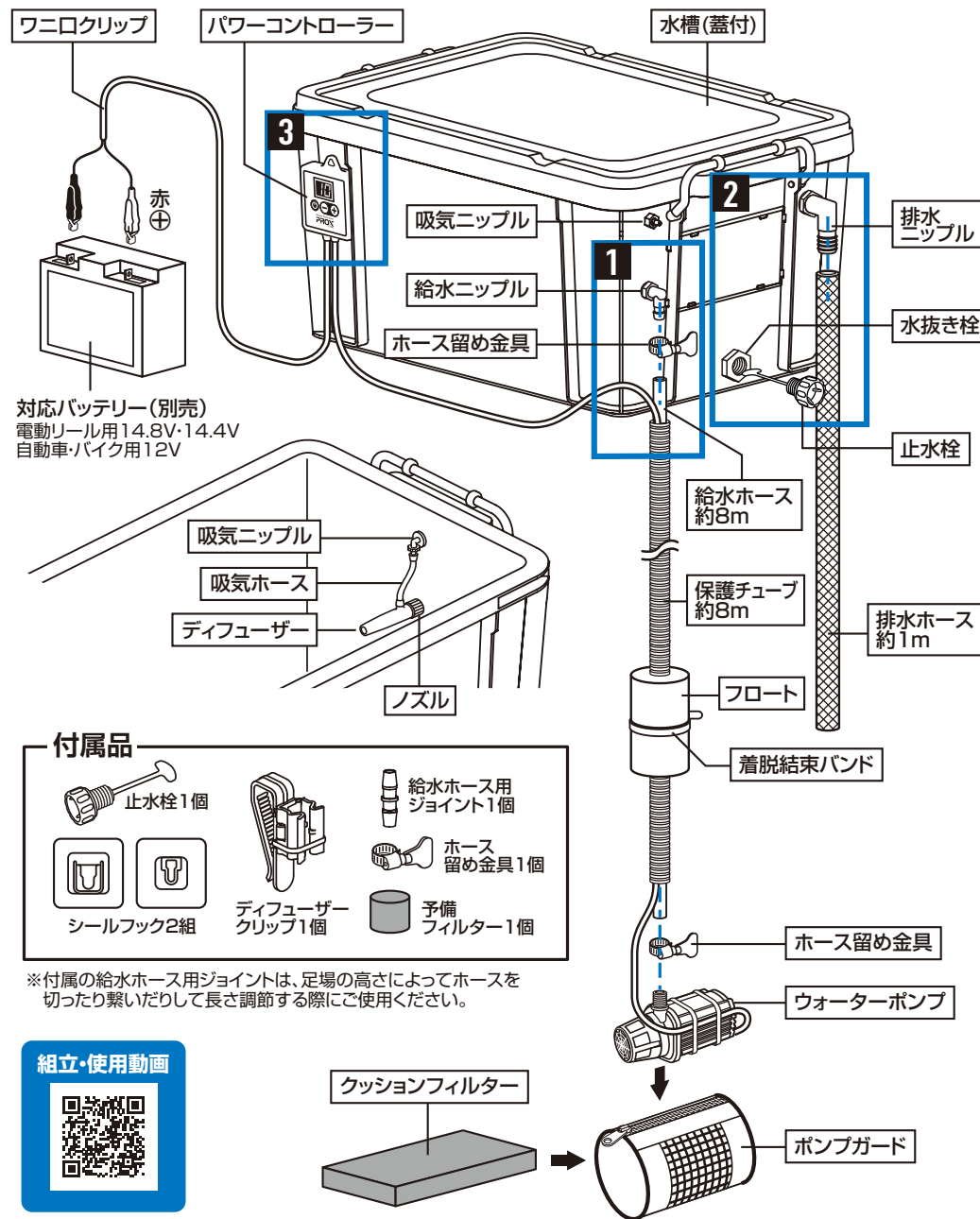
現象	原因チェック	処置方法
水が正常に汲みあがらない	ホースが折れたりねじれたりしていませんか?	折れやねじれを戻してください。
	ウォーターポンプ稼働後に水中へ入れていますか?	電源を切り、再び電源ボタンを長押しして稼働させてください。
	フィルターが汚れていませんか?	電源を切り、ウォーターポンプを引き上げてフィルターの状態を確認してください。
	バッテリーの残量はありますか?	デジタル表示に「L」が点滅、または稼働停止であればバッテリーを交換してください。

修理について

ウォーターポンプ一式の内、故障や不具合については、パワーコントローラーの基板交換のみ可能ですが、パワーコントローラー本体の破損や、リード線(ワニ口クリップを含む)の断線、ウォーターポンプ本体の修理は行っておりません。また、水槽の割れなどの破損も修理できません。

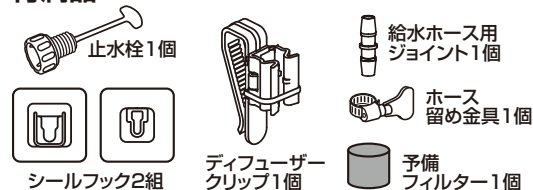
製品内容

- 水 槽 ― 式: 水槽、蓋、吸気ニッブル、吸気ホース、給水ニッブル、ディフューザー、給水ホース約8m、ホース留め金具、排水ニッブル、排水ホース約1m、水抜き栓
- ポンプユニット: ウォーターポンプ本体、リード線約8.5m、パワーコントローラー、ワニ口クリップ、ポンプガード、クッションフィルター、保護チューブ約8m、フロート、着脱結束バンド2本
- 付 属 品: ホース留め金具1個、シールフック2組、予備フィルター1個、給水ホース用ジョイント1個、止水栓1個、ディフューザークリップ1個



対応バッテリー(別売)
電動リール用14.8V・14.4V
自動車・バイク用12V

付属品

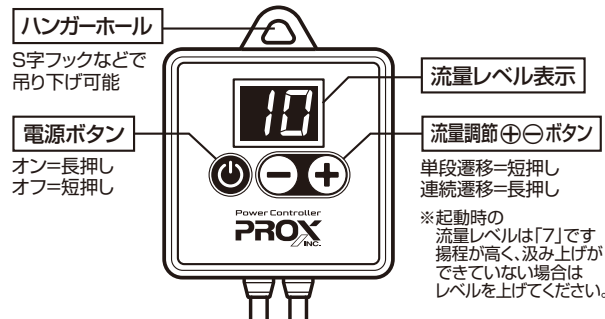


※付属の給水ホース用ジョイントは、足場の高さによってホースを切ったり繋いだりして長さ調節する際にご使用ください。

組立・使用動画



パワーコントローラーのデジタル表示について



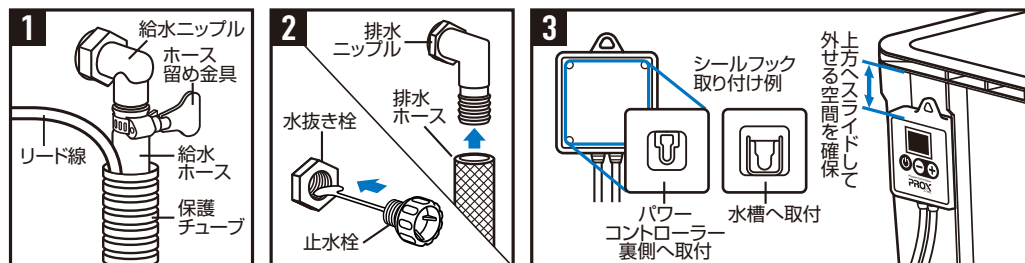
- バッテリーの残量が少ないサイン: 「L」と「レベル」が交互に点灯(早めにバッテリーを交換してください。)
※使用を継続すると、過放電防止のために「L」のみ点滅し、自動停止します。
※バッテリーによっては、過放電保護機能が働か、出力を停止する場合があります。
- 誤って17Vを超える電源へ接続した場合: 「H」(High)が点滅し、不動のまま点滅後消灯
※速やかに電源への接続を外し、対応バッテリーをご使用ください。
- 本体上部ハンガーホール付き(S字フックなどで吊り下げられます。)

バッテリー容量による流量レベル別稼働時間

流量レベル	20Ah	12Ah	6.7Ah
1	173h	104h	58h
2	150h	90h	50h
3	129h	77h	43h
4	114h	68h	38h
5	105h	63h	35h
6	95h	57h	32h
7	78h	47h	26h
8	57h	34h	19h
9	43h	26h	15h
10	33h	20h	11h
11	27h	16h	9h
12	22h	13h	7h
13	17h	10h	6h
14	15h	9h	5h
15	13h	8h	4h

※社内テストによる電動リール用バッテリーでの参考値です。

使用手順



給水ホースへ付属のホース留め金具を通してから水槽外側の給水ニッブルへ差し込み、ハンドルの回して固定します。

水槽外側の排水ニッブルへ排水ホースをつなぎ、付属の止水栓のT字部を横へ向けながら水抜き栓へ通して締めます。

パワーコントローラーを任意の位置へ付属のシールフックか、市販のS字フックなどでしっかりと取り付けます。
※付属のシールフックを、コントローラー裏面と水槽などの側面に貼り付けて着脱ができます。取り付ける際は、上方へスライドして外せる空間を確保してください。



フロートは、ウォーターポンプを沈める深さを決めて保護チューブへ被せ、付属の着脱式結束バンドで固定します。

ウォーターポンプは決して投げ込まず、少しずつ送り込んで水中へ沈めます。

バッテリーへワニ口クリップを接続して電源ボタンを長押しし、デジタル表示にレベル「7」が点灯して汲み上げを開始します。

⊕または⊖ボタンを押して1から15の範囲でお好みの流量に調節できます(長押しで連続遷移が可能)。

※止水栓を取り付ける際はT字の付け根が細いので、折れないように注意してください。

※ポンプが沈まないときは、ポンプガードの中に空気が残っています。水中で軽く上下に振り、空気を出してください。

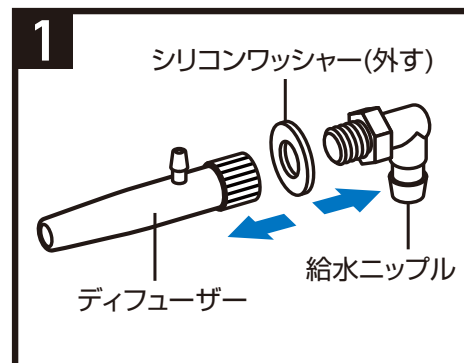
※余ったホースとリード線は、水槽の把手等へ付属の着脱式結束バンドで固定し、束ねて陸に上げてください。

※ウォーターポンプが底へ着かないようにフロートの位置を調節してください。砂泥を吸い込むと故障の原因になります。

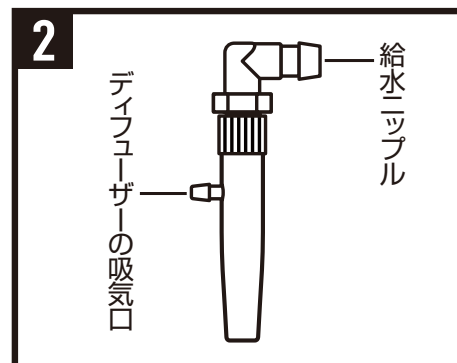
水汲みが不便な 磯場などでのご使用の場合

お手持ちの水汲みバケツやバケツなどへ水汲みができ、
手洗いや血抜き、また、釣り場の掃除などにもご使用いただけます。

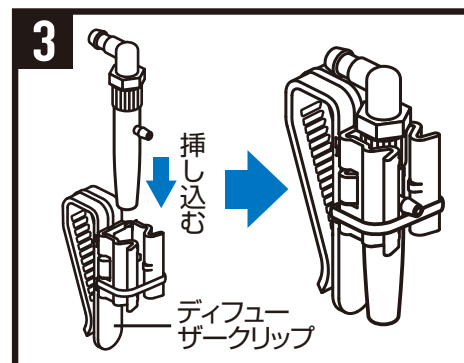
組み換え方法



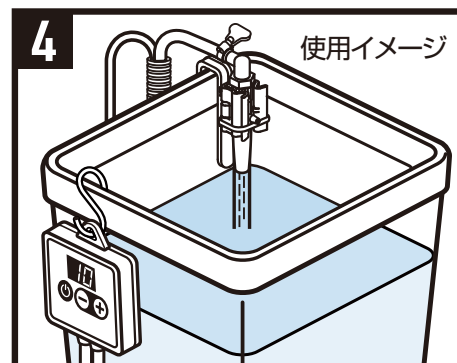
水槽の給水ニップルとディフューザーを緩めて外します。※シリコンワッシャーは使いません。



給水ニップルとディフューザーを接続。
※給水ニップルとディフューザーの吸気口が反対を向くように調整してください。



付属のディフューザークリップにディフューザーを挿し、水汲みバケツやバケツの縁へ挟みます。



給水ホースへホース留め金具を通してから給水ニップルへ差し込み、ハンドルを回して固定します。

- ※排水口を設けない場合は、給水を続けると縁から水があふれます。
- ※ディフューザーの吸気口より水位が上がるとエアが入らず、泡が混合されません。
- ※生簀の排水ニップルを付け替える場合は、ディフューザーの吸気口より下へ排水口の上端が位置するように直径20mmの穴を開けてください。
- ※給水ホースは、自重で落下しないように重量のあるクーラーボックス等へ固定してください。